



- 1)喜多村賞受賞 兵庫医科大学小児科学講座 徳永沙知 先生よりご寄稿
- 2)第17回(2024年度)日本頭痛学会専門医試験実施について
- 3)Headache Master School Japan(HMSJ)2024 Spring Semester Hiroshima
開催のお知らせ
- 4)日本頭痛学会協賛セミナーのお知らせ
- 5)頭痛研究トピックス～広報委員より最新の論文をご紹介します



1)喜多村賞受賞 兵庫医科大学小児科学講座 徳永沙知 先生よりご寄稿



「喜多村賞受賞に寄せて」

この度は、喜多村賞という名誉ある賞をいただき誠にありがとうございます。受賞の知らせをメールでいただいた時は、実感がわきませんでした。皆様の前で賞状を授与され、「おめでとう」と多くの先生方からお言葉をいただき、感激しております。

受賞対象となったのは、2022年度の日本頭痛学会で発表させていただいた「小児片頭痛における血清亜鉛値と臨床的因子との関連性の検討」です。小児片頭痛患者の40%で血清亜鉛値が80 μ g/dl以下であること、起立性調節障害(OD)を共存しない患者の血清亜鉛値は、共存する患者よりも低いことを報告しました。

亜鉛は、生存に不可欠な微量元素で、亜鉛欠乏症や亜鉛補充の有用性がさまざまな疾患で報告されています。頭痛分野に関しても、成人片頭痛患者の血清亜鉛値が低いことや、亜鉛サプリメントによる頭痛の改善の報告がありますが、小児に関する報告はありません。亜鉛欠乏症の臨床症状は多岐にわたり、元気がない、食欲不振などの症状も含まれますが、これらは亜鉛欠乏症を連想しにくいものです。そうした症状で大学病院を受診する患者の中に、亜鉛欠乏症が見逃されているケースがあるかもしれないと考え、研究を実施するに至りました。

結果は、対象となった57症例中、34例(60%)は血清亜鉛値正常、22例(38%)は潜在性亜鉛欠乏症(血

清亜鉛値 60-80 $\mu\text{g}/\text{dl}$), 1 例(2%)は低亜鉛血症(60 $\mu\text{g}/\text{dl}$ 未満)でした(亜鉛欠乏の診療指針). また, OD を共存しない片頭痛患者の血清亜鉛値は共存する患者よりも低いことがわかりました. ただし, 健常小児群との比較はまだ行っておらず今後の課題としています. 亜鉛は小児の健康にも重要であるため, 健常小児の基準値を確立し, さらなる研究を行う必要があります.

個人的な話ですが, 2024 年 4 月に第二子を出産予定です. 産休育休中は, 育児を存分に楽しみたいと思います. 復帰後の目標は, 頭痛専門医を取得すること, 国際学会に参加することです. また, 今回の研究結果を論文文化することも, 育休中の宿題です.

最後に, いつもご指導いただいている竹島泰弘 教授, 下村英毅 先生に心から感謝申し上げます.

※徳永先生のご意向により, お写真をイラストにして掲載しています.

2)第 17 回(2024 年度) 日本頭痛学会専門医試験実施について

第 17 回日本頭痛学会専門医認定試験が下記の要領で行われます. 受験を希望される方は, 受験資格をご確認のうえ所定の手続きを行ってください.

1. 試験日時: 2024 年 8 月 10 日(土) 10:00~16:00
2. 試験会場: 都市センターホテル (〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-4-1)
(東京メトロ 有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町」駅 4 番・5 番出口より徒歩約 4 分)
3. 試験方法: マークシート方式による筆記試験(200 問出題)
4. 申請書受付期日: 2024 年 5 月 31 日(消印有効, 厳守)

※受験資格・申請書類などの詳細は, 日本頭痛学会ホームページをご参照ください.

3)Headache Master School Japan(HMSJ)2024 Spring Semester Hiroshima

開催のお知らせ

このたび春季 HMSJ が広島県で現地開催されることとなりました. 現地参加と Web 参加が可能なハイブリット形式で開催となっています. なお, 現地開催の定員は先着 100 名ですので, ご希望の方はお早めにお申し込みください.

頭痛専門医を目指す先生方には, HMSJ の参加が教育認定病院での研修歴の一部に代替されます(詳細はホームページをご確認ください). また, 頭痛専門医の先生方には, 専門医更新のための研修認定単位 10 単位が付与されます. ただし, 研修歴認定や単位取得のためには, HMSJ の全日程に参加もしくは視聴のうえ, ポス

トテストに合格する必要があります。

1. 開催日: 2024年6月23日(日) 9:00~16:30(予定)
 2. 会場: エールエール A 館 〒900-0029 広島市南区松原町 9-1 エールエール A 館 6 階
(広島駅南口向かい側)
 3. 募集期間: 2024年5月24日(金)まで (締め切り厳守)
 4. 受講費: 20,000円(事前振り込み)
 5. 実行委員長: 山脇 健盛 先生 (広島中央保険生活協同組合, 福島生協病院 脳神経内科)
- ホームページ: <http://hmsj2024-1.umin.jp/index.html>

4) 日本頭痛学会協賛セミナーのお知らせ

日本頭痛学会協賛セミナー(日本頭痛学会認定単位・日医生涯教育講座単位それぞれ1単位認定あり)のお知らせをさせていただきます。

日程: 6月19日(水) 19:30~20:30(zoom webinar)

テーマ・講師:

【基礎から学ぶ片頭痛治療の新潮流】

東京歯科大学市川総合病院 神経内科教授 柴田護 先生「診療に必要な片頭痛病態の基礎知識」

静岡赤十字病院 脳神経内科部長 今井昇 先生「頭痛診療初心者のための抗 CGRP 抗体製剤」

視聴方法: 以下の zoom webinar リンクより事前にご登録ください。

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_1kTvL-UmRfuFuSeiIHqE8A

5) 頭痛研究トピックス~広報委員より最新の論文をご紹介します

- 反復性片頭痛成人患者における日常的なカフェイン飲料摂取と頭痛の関連性

Mittleman MR, et al. Habitual caffeinated beverage consumption and headaches among adults with episodic migraine: A prospective cohort study. Headache. 2024 Feb 6. doi: 10.1111/head.14673. Online ahead of print

掲載日: 2024/02/19

https://www.jhsnet.net/pdf/zutu_topics_148.pdf

- 皮質拡張性脱分極/抑制による硬膜三叉神経の感作についての新知見

Blaeser AS, et al. Sensitization of meningeal afferents to locomotion-related meningeal deformations in a migraine model. *Elife* 2023;12:RP91871.

掲載日:2024/02/19 <https://doi.org/10.7554/eLife.91871>

https://www.jhsnet.net/pdf/zutu_topics_149.pdf

- 片頭痛に関連したスティグマと生活支障度や生活の質との関係

Shapiro RE, et al. Migraine-related stigma and its relationship to disability, interictal burden, and quality of life. *Neurology* 2024;102:e208074.

掲載日:2024/03/26

https://www.jhsnet.net/pdf/zutu_topics_150.pdf

- 視床下部オキシトシン陽性ニューロンによる三叉神経頸髄複合体広作動域ニューロン抑制効果

Condés-Lara M, et al. Hypothalamic paraventricular stimulation inhibits nociceptive WDR trigeminocervical complex cells via oxytocinergic transmission. *J Neurosci.* 2024 Mar 4:e1501232024. doi: 10.1523/JNEUROSCI.1501-23.2024.

掲載日:2024/03/26

https://www.jhsnet.net/pdf/zutu_topics_151.pdf

【日本頭痛学会 広報委員会】

ニュースレターに関するご意見, 問い合わせは <jhs-office@shunkosha.com> までお願いいたします.